

# “日本語文と英語文”

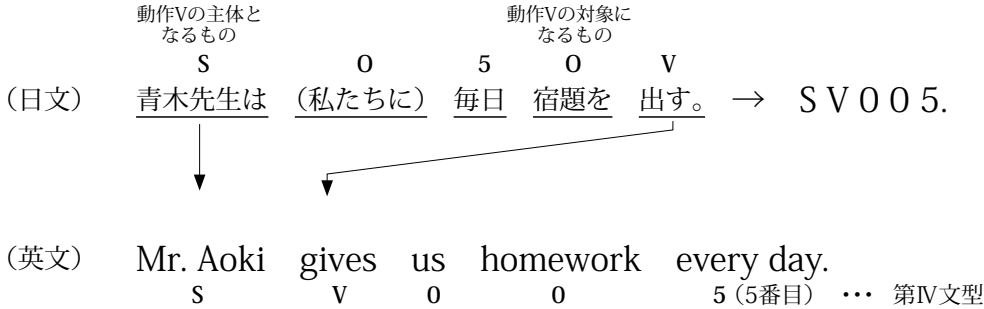
☆ 日本語と英語のいちばん大きい違いは、

構文（文の組み立て方）が違うことです。英文を作るとき、日本語文中の単語をそのまま英語に取り換えても英文にはなりません。生まれた時からしみついている日本語の組み立て方を英語の組み立て方に転換するのに私たちは苦労します。

日本語には、「て、に、を、は」と言われる‘助詞’があって、これを‘ことば(名詞)’に結びつけたものを並べて文を作り、意味を伝えます。（世界の言語の中でも少数派です。）助詞がついていれば文中のどこに置いても文の意味は変わりませんから単語の並べ方に決まりはありません。動詞は最後に来ます。

日本語と対照的に、英語には‘助詞’がありませんから単語の並べ方で意味を伝えます。

「SはVする。」、または「SはVです。」と、全部「SV.」で始まります。



☆ また、日本語の話し言葉では主語 S が頻繁に省略されます。  
 ときには目的語 O も、お互いにわかっているものとして省略されます。  
 前ページの例文でも、私たちはふつう「私たちに」を言いませんが、英文では形が決まっていますから省略できません。

(日文) すごく楽しかった! → S V O 4.  
 (英文) I enjoyed it very much. S V O 4. ……第Ⅲ文型  
 (上記のように、本文では省略されている S や O の下に ? をつけました。)

☆ 英語では、動詞が肝心です。  
 動詞 V がいろいろな意味を表す役割を担っていますから、V の使い方には注意が必要です。多種類の形の変化があります。現在形、過去形、未来形、完了形、それら全ての否定形と疑問形、また助動詞を使うときの決まり、主語が単数か複数かなどでも形が変わります。

☆ 英作文をするとき、まず日本文の意味を取ってから、S と V を決めます。  
 最初から SV でものを考えて英文にする習慣がつけば、英作文はこれまで言われているほど難しいものではなくなると思います。外国人が複雑な日本語を習うより楽かもしれません。

「SV…」で文を考えることに慣れるために、この本の例題が役に立てば嬉しいです。

## 5文型

この V は自動詞。S だけでする動作。 ます文  
**第Ⅰ文型** S V. I swim in the pool in the morning.  
 SはVします。 S V 副詞句 副詞句  
 go, come, live, walk, run, fly, stand, sleep, shine, turn, ...

この V は不完全自動詞。C がなければ意味をなさない。 です文  
**第Ⅱ文型** S V C. He is a member of our team.  
 SはCです。 S V C  
 be 動詞 (am, is, are など)。ほかに look~, sound~, seem~, ...

この V は他動詞。必ず O が必要。 ます文  
**第Ⅲ文型** S V O. He is studying Japanese.  
 SはOをVします。 S V O  
 do, take, get, have, know, read, write, meet, build, see, ...

この V は他動詞。だれかに、なにかを、と 2 つの O がいる。 ます文  
**第Ⅳ文型** S V O O. My brother gave me his racket.  
 SはOにOをVします。 S V O O  
 give, show, teach, sell, send, lend, make, buy, bring, ...

この V は不完全他動詞。C がなければ完全にならない。 ます文  
**第Ⅴ文型** S V O C. We call him Ken.  
 SはOをCにVします。 S V O C  
 call, name, show, send, find, keep, think, feel, hear, ...

# 目次

☆ 英文は、全部 SV で始まる 5 つの型に分類されます。  
V の性質によって、あとの単語の並べ方が決まります。

☆ S は主語。Subject。日本語では“は(が)”がつくもの。  
動作(動詞)の主体となるもの。名詞か代名詞。

O は目的語。Object。日本語では“を(に)”がつくもの。  
動作(動詞)の対象となるもの。名詞か代名詞。

C は補語。Complement。これがないと動詞の意味は不完全。  
S や O について付け加える、または説明することば。  
名詞か形容詞か動詞の原形。

☆ 文中、V 以外に必要な動詞は、“to 原形”や“原形-ing”のように名詞や形容詞に形を変えて、S、O、C の場所に入る。

☆ 場所、時を言う副詞句は S、V、O に入らない。だいたい後ろに置く。  
in the morning, in the park, with me, under the table, at six

## 第 1 章 第 I 文型 S V. … 9

私は 毎朝 6 時に起きます。  
きのうの晩 何時に 寝た？

## 第 2 章 第 II 文型 S V C. … 33

父は 背が 高く、ふとっています。  
このいもむしが きれいな蝶になるのだ。

## 第 3 章 第 III 文型 S V O. … 51

きのう テレビで 古い映画を 見ました。  
今度こそは 間違いをしないようにしよう。

## 第 4 章 第 IV 文型 S V O O. … 79

母は 私に 毎月 3 千円 くれる。  
あなたのアルバム 見せてくれる？

## 第 5 章 第 V 文型 S V O C. … 95

みんなは その小さな猫を “とら” と呼ぶ。  
私は、あなたに それをやってもらいたいです。

## 第 6 章 接続詞 … 117

タクシーで行けば、5 分です。  
一生懸命走ったが、間に合わなかった。

## 第 7 章 関係代名詞 … 131

きのう買ったミルク もう飲んじゃったの？  
あまり勉強しなくてもいい高校は ありませんか。